

桜島の火山活動の状況等について

※これは速報値であり、数値等は今後も変わることがある。

※下線部は、前回からの変更箇所。

平成 28 年 2 月 8 日

15 時 00 分 現在

内 閣 府

1. 火山活動等の概要（気象庁情報：2月8日14:00現在）

(1) 火山活動等の状況

・ 2月5日18:56 桜島昭和火口で爆発的噴火

桜島では、2月5日18時56分頃に爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上2,200mまで上昇。噴火に伴い、昭和火口から弾道を描いて飛散する大きな噴石が3合目（昭和火口から1300m～1800m）まで飛散。

・ 2月8日07:08 昭和火口で噴火、噴煙高度は火口上2100m

08:41 昭和火口で爆発的噴火、噴煙高度は火口上2500m

09:41 昭和火口で噴火、噴煙高度は火口上1000m

(2) 噴火警報等の発表状況

・ 5日18:59 噴火速報発表（桜島で18:56頃、噴火が発生）

19:02 火山観測報発表

昭和火口で噴火が発生。有色噴煙（火口上2200m）。噴煙の流向南東。

19:13 噴火警報発表。噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲で大きな噴石及び火砕流に警戒が必要。

・ 桜島の昭和火口では、18:56に爆発的噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が3合目（昭和火口から1.3km～1.8km）まで到達。
・ 風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意。爆発的噴火に伴う空振によって窓ガラスが割れるなどの恐れがあるため注意。

19:20 降灰予報（詳細）発表

20:30 火山の状況に関する解説情報（臨時）発表

22:40 火山活動解説資料発表

・ 6日17:15 火山活動解説資料発表

・ 気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力により上空から火口の観測を実施。昭和火口周辺に大きな変化は認められなかった。
・ 火口の状況や他の観測データを総合的に勘案した結果、急激な活発化の兆候は認められないものの、今後も5日と同程度の規模の噴火が発生する可能性と評価。

(3) これまでの経緯（内閣府調べ：2月8日15:00現在）

- ・桜島では、昨年11月25日以降、噴火警戒レベル2で維持されていた
- ・噴火警戒レベル2において、気象庁が示す警戒範囲は1km。ただし、地元の火山協議会で自主的に昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの立入規制を継続。そのため、今回のレベル3引き上げにより地元自治体の防災対応が変更となるものではない。

＜＜参考1＞＞

- ・平成27年8月15日、桜島ではレベル4に噴火警戒レベルを引き上げ（警戒範囲は3km）、51世帯77人が避難。 ※桜島の人口は2,078世帯 4,484人（平成27年7月1日現在）
- ・平成27年9月1日、噴火警戒レベルを3に引き下げ（警戒範囲は2km）
- ・平成27年11月25日、噴火警戒レベルを2に引き下げ（警戒範囲は1km）

＜＜参考2＞＞

- ・火口から最も近い集落は「有村（ありむら）」（火口から2.4～2.5km）

(4) 降灰予報（気象庁情報：2月8日14:00現在）

- ・8日15時から9日9時までに噴火が発生した場合には、火口から東方向に降灰が予想される。

2. 被害状況（消防庁情報：8日12:00現在、警察庁情報：8日13:00現在）

(1) 人的被害

- ・被害情報なし

(2) 物的被害

- ・被害情報なし ※桜島の噴火に伴う110番通報、119番通報なし

3. 住民避難の状況（消防庁情報2月8日12:00現在）

- ・住民の自主避難なし（避難指示・勧告等の発令なし）

4. その他の被害状況等

(1) ライフライン関係

ア 電力（経済産業省情報：2月8日14:00現在）

- ・被害なし

イ ガス（経済産業省情報：2月8日14:00現在）

- ・被害なし

ウ 水道（厚生労働省情報：2月8日14:00現在）

- ・被害なし

エ 通信・放送（総務省情報：2月8日13:30現在）

- ・被害なし

(2) 原子力発電所関係（原子力規制庁：2月5日19:20）

- ・川内原子力発電所 異常なし

5. 政府の主な対応

(1) 官邸の対応

- ・情報連絡室設置（2月5日 18:59）

6. 各府省庁の主な対応

(1) 内閣府の対応

- ・内閣府情報対策室設置（2月5日 19:13）
- ・内閣府防災ツイッター等により、国民への注意喚起を実施

2月5日 19時02分

【噴火速報】5日18時56分頃、桜島で噴火が発生しました。周辺にいる方は、ただちに身を守る行動をとってください。

2月5日 19時23分

【火山情報】5日19時13分、鹿児島県の桜島に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が発表されました。地元自治体等の登山禁止・入山規制等の指示に従い、危険な地域に立ち入らないでください。

(2) 警察庁の対応

- ・警察庁災害情報連絡室設置（2月5日 18:59）
- ・官邸に鹿児島県警察本部の屋上固定カメラの映像を配信（2月5日）
- ・桜島を管轄する鹿児島中央署員3名が桜島島内の警戒を実施中（2月5日～）

(3) 消防庁の対応

- ・対応職員を指定し情報収集体制を強化（2月5日 18:59）

(4) 防衛省の対応

- ・現時点で災害派遣要請なし

ア 情報収集態勢の強化

- ・陸上自衛隊 西部方面総監部 [健軍]

イ リエゾンの派遣

- ・鹿児島地方協力本部（鹿児島）のLO（人員1名、車両1両）が鹿児島県庁へ派遣（2月5日 19:30 発、19:39 着）

(5) 文部科学省の対応

- ・災害情報連絡室を設置（2月5日 19:05）。
- ・鹿児島県教育委員会に対し、防災態勢の強化等について注意喚起（2月5日 19:43）。
- ・京都大学において、観測データを気象庁や鹿児島県等に提供するとともに、科学的知見を用いて桜島の火山活動の把握等に関する中心的役割を担っている。
- ・火山噴火予知連絡会からの要請により、宇宙航空研究開発機構（JAXA）において「だいち2号」（ALOS-2）による緊急観測を実施（2月8日）。

- ・防災科学技術研究所において、ウェブサイトにも研究者を中心に観測情報を参照できるポータルサイトを開設しており、情報を随時更新している。
- ・※文教施設関係の被害なし

(6) 気象庁の対応

- ・記者会見（2月5日 20:30）
- ・気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県防災ヘリに搭乗し、上空からの観測を実施。また、地上からの機動観測を実施（2月6日）

7. 関係地方公共団体の対応（消防庁情報：2月8日 12:00 現在）

(1) 鹿児島県の対応

- ・情報連絡体制（2月5日 19:13）
- ・県防災ヘリによる現地調査を実施（2月6日 10:33～11:59）
※鹿児島地方気象台職員2名、京都大学桜島火山観測所・中道准教授同乗
- ・情報連絡体制解除（2月7日 18:00）

(2) 鹿児島市の対応

- ・情報収集体制（2月5日 19:13）
- ・噴火発生後、鹿児島市消防局職員6名が桜島の県道を車両で巡回し、被害状況の確認及び警戒活動を実施（2月5日 19:00～）